

第19回離島対策等検討会 議事概要

1. 日時 2011年5月30日(月) 15時00分～17時00分
2. 場所 日本自動車会館11階 (財)自動車リサイクル促進センター第2会議室
3. 出席者 藤井座長、大杉委員、渡邊委員
その他 (財)自動車リサイクル促進センター事務局、
経済産業省・環境省担当官
4. 議題
 1. 2010年度離島対策等支援事業 実績報告
 2. 2011年度離島対策支援事業 活動計画
 3. 小規模離島市町村の要請手続きについて
 4. 離島対策支援事業 使用済自動車流通マップ初版発行について

5. 議事概要

本議事概要は検討会での承認事項及び委員の主な意見を中心にまとめており、質疑の詳細については1ヶ月後を目処に議事録にて公表いたします。

議題1「2010年度離島対策等支援事業 実績報告」、議題2「2011年度離島対策支援事業 活動計画」、議題3「小規模離島市町村の要請手続きについて」を、事務局より説明し了承された。

なお、議題4「離島対策支援事業 使用済自動車流通マップ初版発行について」を報告し、資料の性質上公表しないことで了解を得た。

<意見>

- (1) 離島対策支援事業については、申請台数の保有台数比から見て安定化、定着化との言及があったが、市町村別に見ると全てが定常状態とは言えないため、これまで実施してきた支援活動を継続していただきたい。また、今後、支援活動がどこを目指し、何に注力していくか等について、この検討会で議論をして共有化しておきたい。
中核事業者及び核となる人の育成完了で市町村支援を終わりとするのではなく、継続的に現地に足を運ぶことによる支援が必要である。
- (2) 海上運賃が高額な小笠原村における費用の低減化について、再度検討されたい。
- (3) 小規模離島市町村の要請手続きについて、事務負担の軽減化という目的において、弾力的な運用への変更という主旨は賛成である。
- (4) 使用済自動車流通マップについては、これまでの事業活動を集約した社会的にも意味のある価値の高い情報であると思われるため、より多くの関係者での活用を図り、事業に資することを検討されたい。

以上